

くれはまゆみは、あなたの声を 市政に活かします。

こどもがまんなか みんなの木津川市をつくりたい。

「子どもの未来」は「社会の未来」そのものです。

自分たちのまちが「暮らし続けられるまち」であるために、

未来を担う子どもたちを今の社会のみんなで応援する。

それは、私たち自身の未来を応援することであり、子どもが幸せなまちは、
高齢の方も若い世代も働き盛りの方々も、みんなが幸せなまちになるということ。

近年、木津川市の様々な課題が浮き彫りになってきました。

教育では、城山台の超過大規模校のこれからをどうするのか。

人口減少地区の小中学校、公立幼稚園や保育園の統廃合問題。

不適切な土地への新消防署建設問題と山城・木津西の消防出張所廃止の問題。

山城町神童子のメガソーラー建設問題など。

教育、いのち、財産、環境、防災、暮らしのそのものに直結する重要な問題にもかかわらず、私たち市民の知らないところで決められ、強引に進められています。

山城、加茂、木津3町が合併してから16年。

みなさんの想いは等しく叶えられているでしょうか。

政治は市民の力で変えることができます。

政治家にとって一番必要なこと、それは自分の知らない不都合を当事者から

学び続ける謙虚さがあることです。他人への想像力が仕事の本質であると思います。

政治とは生活そのものです。

地域ごとに異なる多様な魅力を持つ木津川市。文化・自然・農業・水・食、

そしてなによりもこのまちに生きている人。すべてが大事にされるそんな木津川市を

みんなの力でつくっていきましょう！

くれはまゆみ

webサイトは
こちらから



こどもがまんなか木津川市をつくる会

発行日 2023年3月31日

〒619-0222 木津川市相楽城下100-9 OKビル2F

TEL 0774-72-5599

いま、 選択のとき。 4/23

無所属

市民派
無党派

くれは まゆみ

さんを紹介します

webサイトは
こちらから



くれはの
5つの
お約束

- 小中学校の給食の無償化をめざします。
- 18歳までの医療費無料化を実現します。
- コミュニティバスを木津川市全域の循環バスに！市民参加でルート改善。
- 新消防署建設計画の中止見直し。山城・木津西消防出張所を存続する。
- 木津川市の農業を大切に、地域経済を活性化します。

わたしたちは、くれはまゆみさんを応援します。

2023.3.12
くれはまゆみ大演説会で
いただいたスピーチより。

明治の末、強固な男性支配社会の中であって、男女平等・機会均等を訴え、女性にも高等教育の場が必要だと全国を奔走した先達がいる開学した本校。100有余年の歴史の中で初の女性学長を務めています。組織の長になるには、法律を理解する知性、財務を読み解く知性、官僚と対等に議論する知性などが求められます。

京女出身のくれはまゆみさんは「女性の力を社会を変える力に」というスピリッツを身に持ち、かつ、それを活用できる、市長としての実績を上げることのできる知性の持ち主です。今の木津川市を変革するため、私たちの願い託しましょう。

京都女子大学長
竹安栄子さんより



竹安先生、
福山さん、守田さんが
駆けつけてくださいました。



世界で一番水害の危険性が高い国、日本。私たちの国は、防災に対し基本的に考え直さなくてはなりません。その際、参考になるのが明治6年、31歳で日本に招聘されたオランダの土木技師ヨハネス・デ・レーケ。山城町や加茂町の土木工事にに関わり木津川市にはデ・レーケの石碑のある公園もあります。彼の考えの重要なポイントは「地元の人とよく話し合う」ということでした。

くれはさんが、現市政を批判している1番の要因は「話し合いがない」こと。ことを決めてから市民に公表するやり方。くれはさんは、現場の声と知恵を生かして市政をすすめると言っています。だから市長室を開放し、市民と対話すると。デ・レーケの精神そのものです。「子どもがまんなかにて、いろんなことをみんなが対話して決めている」デ・レーケはそんなかつての日本に惚れ込んで30年も日本に残り、木津川市にもその足跡を残してくれています。「子どもがまんなか みんなの木津川市」をつくり出すことは日本社会全体を変えることにつながると期待しています。応援しています。

フリーライター
守田敏也さんより



弁護士
福山和人さんより



国連の幸福度ランキング、ジェンダーギャップ指数、いずれも上位3位までを北欧諸国が独占しています。これらの国に共通している点が3つあります。①女性の社会進出が進んでいる。②子育てや医療・介護などの福祉が進んでいる。③市民の政治参加が進んでいる。これら北欧諸国に共通している3点を体現しているのが「くれはまゆみ」さんです。兵庫県明石市や京都府大山崎町などでは、子育て支援が結果的には自治体の経済を活性化させ、全世代の福祉の向上につながっています。自治体の首長選挙の役割はとても大きいのです。

「子育てを語るなら木津川市」「福祉を語るなら木津川市」「地方自治を語るなら木津川市」、そんな木津川市を実現するために、くれはまゆみさんを心から応援します。



核廃絶の活動をしている
高橋悠太さんと



障がいのある子どものことを初めてくれはさんに相談したのが8年前。それからずっと一緒に悩み、寄り添い続けて来ています。くれはさんは、どんな人の悩みや辛さにも耳を傾け、一度相談したらずうっと気にかけてくれます。くれはさんの中には、そんないろんな人の「喜び、悲しみ、悩み事」がパンパンに詰まっています。

くれはさんが掲げる政策は、そこから生まれています。選挙が近づけば、耳障りのいいことを言う人がたくさんいます。でも、くれはさんの言葉には嘘がありません。何年も何年もみなさまからお聞きしたいいろんな声から生まれた政策で、木津川市が、どんな人にも優しい街になることは間違いありません。

全力で応援します。

木津川市民 増田優子さんより



ずっと市民の声を
聞いてきたくれはさん

いつも
こどもの目線に



くれはカフェで
水道や農、まちづくり
いろいろなことを
話してきました。

街宣途中
いろんなお話
お聞きしています。

わたしたち
市民ボランティアが
チラシまいてます。

一緒にボランティア
しませんか。

読み聞かせボランティアや
子育て支援活動をずっと続けてるくれはさん。
発達障がい、不登校の悩み等
たくさんの声が集まってきます。



市民派くれはさん、
自分の車を選挙カーに！
1台でこつこつ
木津川市をまわっています。



自然豊かな
木津川市が大好きな
くれはさん

web サイトは
こちらから

